

# 第4章 教育の情報化

## 第1節 基盤整備

県立学校、図書館、美術館及び博物館等の教育関係機関が専用イントラネット及び電子メール等のインターネットサービスを利用できるよう、平成 11 年度から県教育センターを拠点として運用している「うつくしま教育ネットワーク」の利便性の維持を図っている。

特に、メールシステムについては、教員の多忙化解消等の視点を踏まえ、グループウェア機能を持つ Google 社の運営する G Suite for Education を活用した「ふくしま教育クラウドサービス (FCS)」の本格運用を開始した。

また、県立学校の教職員が校務に使用するパソコンについては、平成 21 年度までに、県立学校に教員 1 人 1 台に相当するパソコンの配備を行ったが、平成 29 年度は Windows 7 のサポート期限到来に備え、2,517 台の更新・配備を行った。

さらに、Web システムについては、情報発信の強化と作業の効率化を図るため、福島県の Web システム及び NetCommons3 を活用した CMS (コンテンツ・マネジメント・システム) の県立学校を含む教育庁機関への導入を開始した。

### うつくしま教育ネットワークのサービス

#### ・ホームページの利用環境

学校や教育関係機関等がウェブサイトを設置できるスペースを提供し、取組や研究成果などを広く共有する場を提供する。

#### ・電子メールサービス

電子メールアカウントを、教職員、学校、教育関係機関等に発行する。

#### ・不適切情報のフィルタリング

児童・生徒に触れさせたくない情報をネットワーク拠点で一元的に管理し、教育にふさわしい情報の提供を行う。

#### ・セキュリティやウィルス等への対策

#### ・コミュニケーション環境 (メーリングリスト、メールマガジン等)

### 過去 10 年間の県立学校基盤整備状況

年度	教職員 PC 配備実績	校内 LAN 整備
H20	7 3 5 台	
H21	2, 0 4 9 台	7 校
H22	0 台	
H23	3 1 6 台 ※1	
H24	1, 3 9 5 台 ※2	1 校
H25	8 1 4 台 ※2	
H26	0 台	
H27	0 台	
H28	2 2 8 台 ※3	
H29	2, 5 1 7 台 ※4	

※1 東日本大震災に伴うサテライト拠点校等への緊急配備

※2 WindowsXP のサポート終了に伴う更新等

※3 Windows Vista サポート終了に伴う更新等

※4 Windows 7 サポート終了に伴う更新

### 学校の基盤整備状況 (小・中・高・特別支援学校)

項 目	福島県	全国平均
コンピュータ 1 台当たりの児童生徒数	5.0 人	5.6 人
校務用 PC の整備率	118.4%	120.0%
普通教室の LAN 整備率	81.5%	90.2%
普通教室の電子黒板整備率	20.2%	26.7%
超高速インターネット接続率	81.5%	91.5%
統合型校務支援システムの整備率	8.9%	52.7%

文部科学省調べ(平成 29 年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(H30.3現在)(速報値))

## 第2節 人材の育成・活用

すべての教員がコンピュータを操作でき、コンピュータを用いて指導できることを目指して、研修の充実を図っている。

### 人材の育成状況

項 目	福島県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用する能力	81.1%	84.8%
授業中に ICT を活用して指導する能力	68.0%	76.5%
児童・生徒の ICT 活用を指導する能力	64.5%	67.1%
情報モラルなどを指導する能力	78.7%	80.6%
校務に ICT を活用する能力	75.7%	80.2%

文部科学省調べ(平成 29 年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(H30.3現在)(速報値))

